

令和3年2月吉日



笠原だより

笠原自治会ホームページ

令和3年2月発行

<http://www.usennet.ne.jp/~Kasahara/>

笠原自治会

笠原自衛消防隊出初式

1月10日 午前8時より各班の消火栓及び消火器格納箱の点検後、笠原自衛消防隊の出初式を実施しました。例年ならば、終了後、守山市消防出初式に参加していましたが、今年は、新型コロナの感染防止の為、参加人数が制限される中笠原は2名が参加しました。

左義長・粥占い式

同日午後4時より左義長の点火があり、町民の皆様がお正月飾りやお札等を焚き上げに参られて、提灯に左義長の火を持って帰られています。

社務所では、左義長の火で小豆粥を炊き、12本組の篠部竹で令和3年の豊凶吉兆の占い式が、コロナ禍の中、縮小人数で実施されました。占い結果は各戸に配付されました。



笠原自衛消防隊出初式

左義長

粥占い式

1月17日 初観音経法要での法話

直近の自治会等の行事について

2 月 分

- 2月 7日 ごみの分別変更に伴う住民説明会 2班 午後7:00～ (於:公民館)
- 2月 9日 日待ち式 午後9:00～ (於:蜷江神社)
- 2月10日 遙拝式 午前6:30～ (於:蜷江神社)
- 2月11日 養老会総会 午前11:00～ (於:公民館)
- 2月20日 皆済、初穂料、農業組合協力費徴収日 午前8:30～ (於:公民館)
- 2月21日 祈年祭 午後2:00～ (於:蜷江神社)
- 2月21日 ごみの分別変更に伴う住民説明会 3班 午後7:00～ (於:公民館)



1月19日 法竜川護岸改修工事



ゴミ分別変更に伴う住民説明会

今月のトピック

節分の由来

節分は、名前の通り「季節を分ける」ということを意味している言葉です。立春、立夏、立秋、立冬は季節の始まりの日であるため、それぞれの前日は、季節の変わり目にあたり、それが節分だったのです。徐々に、この考えが強まり、立春の前日だけを節分と呼ぶことになったのが現代の節分の由来だといわれています。節分には豆をまきますが、これは中国の習俗が伝わったものとされています。豆は「魔滅(まめ)」に通じ、無病息災を祈る意味があります。京都の鞍馬に鬼が出たとき、毘沙門天のお告げによって大豆を鬼の目に投げつけたところ、鬼を退治できた話が残っています。現代の鬼はコロナです。